

特集

平成二十八年度  
第二回地区別懇談会

Q  
&  
A

十一月十四日(月)から十六日(水)にかけ、全十二地区で地区別懇談会を開催いたしました。各懇談会には、常勤役員および各室・部長が二班に分かれて出席し、平成二十八年度の仮決算事業報告を行なった後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見・ご質問をいただきました。

《総務・企画部門》

**Q** 自己資本比率について、平成二十八年度末の見込みを教えてください。

**A** 平成二十八年度末は、一〇・一〇弱を予定しています。

**Q** 出資配当は増口に戻していますが、自己資本比率の向上にどの程度寄与しているのですか。

**A** 出資配当を増資に回していただくことで出資配当額以上ある脱退金額をカバーしております。

**Q** 自己資本比率はもつと上を目指すべきであり、まずは役員が増口するなどの対策を講じてはいかがですか。

**A** ご意見として承ります。

**Q** 土地の簿価について定期的に見直しはされていますか。

**A** 適正な評価に基づき、会計処理に求められる簿価の見直しを行っております。

**Q** 当組合の正組合員資格要件に法令違反はありませんか。

(手稲地区)

**A** 法令違反はありません。

**Q** 正組合員の資格確認を年に一回行なっている事になっていますが、実施状況を教えてください。

**A** 現在も年一回、正組合員の資格確認を実施しております。

**Q** 固定資産を処分するにあたり、価格の根拠となる判断基準はありますか。

**A** 近隣相場や不動産鑑定士の評価を参考に処分価格の判断を行っております。

**Q** 自己資本比率の増強についての中長期計画はありますか。

(豊平地区)

**A** 現在適用されているパーセルⅢ規制は、系統外部出資に対するリスクウエイトが二年毎に引き上げられており、当初の一〇〇%から平成三十一年には二五〇%となります。これを受けて、平成三十年末の自己資本比率は、一〇・〇七%を目標としております。

**Q** 北海道信連の預金は十分な利鞘があるのですか。

(豊平地区)

**A** 奨励金を含めると〇・五四%の利回りでの運用実績となっております。

**Q** 中期三ヶ年経営計画の中にある事業年度の変更について説明をいただきたい。

(厚別地区)

**A** この計画において、組合員の強化・醸成を目的に検討することとしており、事業年度を変更することで得られる様々な効果を精査し、多面的に検討をしております。



新琴似支店

## 農協改革関連

**Q** 政府の規制改革推進会議農業ワーキンググループから提言された、信用事業の農林中央金庫への譲渡、並びにクミカンの廃止等、政府の規制改革推進会議の具体的な内容に関する情報を聞かせてほしい。また、改革案が全て取り入れられた場合の影響についても聞きたい。

(平岸・白石・手稲・中央・

北札幌・厚別地区)

**A** ホクレンを含めた経済連は買取り販売しかできなくなりません。また、購買事業部門は新しい組織への移行が求められています。移行が不十分な場合は、国が新たな組織を作るとも言っています。信用事業は、貯金残高二〇〇億円以下、資産十億円以下のJAに対して、農林中央金庫への事業譲渡を求めています。さらに、准組合員規制は五年間で実態調査を実施することとしていましたが、加速するとしており二〜三年に短縮することが考えられ、仮に正組合員と准組合員の利用割合が同額と規制された場合、多くのJAが赤字に転落します。提言内容自体が民間組織の経営に過剰介入しているとの認識の下、今後は中央会を通して政府に対する抗議を申し入れてまいります。

**Q** 新聞等の報道で信用事業・共済事業の縮小等の記事が出ておりましたが、これを受けて当組合の営農事業における今後の方向性を説明願いたい。

(篠路地区)

**A** 各種イベントにおいて、札幌産野菜のPRなどに取り組み、市民への都市農業に対する理解醸成に努めてまいります。

## 《人事部門》

**Q** 人事考課制度の改正をしていますが、相対考課は被考課者がおかれた環境により結果が変動することから好ましいとは思えず、絶対考課が望ましいと思います。当組合の考課方法はどちらを採用していますか。

(新琴似地区)

**A** 基本的には絶対考課をしております。ただし、人事考課制度は、職員の育成と処遇を目的としており、処遇の面では相対考課を導入していることと考えております。今後は、絶対考課と相対考課を併せて運用していきたいと考えております。

## 《経済部門》

**Q** 玉葱選果場にある札幌黄の選果台が古くなってきているこ

とで、作業効率に影響が出ています。設備更新について要望します。

(中央地区)

**A** 選果場の効率的な運用も踏まえ検討してまいります。

**Q** 農産物の販売にもつと力を入れるべきではないですか。

(手稲地区)

**A** 農産物の販売については、直売所の設置をはじめ、八紘学園・くるるの杜・さとらんど市場などインショップ事業への取り組み、ホクレンショップ等市内量販店との相対取引など安定的な所得確保が図られるよう有利販売へ向けて取り組んでおり、更なる販路の拡大を目指してまいります。

**Q** 当組合でクミカンを利用していない地区がありますが、営農に支障はないのですか。

(北札幌地区)

**A** クミカンを利用していない地区では、総合口座Ⅱ型をご利用いただいておりますが、営農に支障があるとは聞いておりません。

**Q** クミカン制度と総合口座Ⅱ型の違いを教えてください。

(篠路地区)

**A** クミカンは一年に二度の精算が必要ですが、総合口座Ⅱ型はその必要がないのが大きな違いです。

**Q** 購買事業に係る予約購買奨励金を増やすことを考えていますか。

(篠路地区)

**A** 予約購買奨励金については、従来から倍の一〇%に引き上げております。また、肥料引取奨励金については、本年から二・五円/kgを三・五円/kgへ増額しております。



平岸支店



琴似支店

**Q** 札幌伝統野菜の拡大等、今後の展望について説明願いたい。  
(厚別地区)

**A** 札幌伝統野菜の中でも、札幌大球についてはマスコミ等でも取り上げられており、業務・加工向けで販路が確保されており、品種の特性上、需要も限定され大きな拡大は望めません。現在、加工業者と連携し新たな需要の模索を行なっているところです。その他、枝豆については、種苗会社と連携しPR活動や販路の確保に取り組んで

いるところですが、いずれも札幌に所縁のある野菜を取り上げ、札幌産野菜全般の認知度向上を図るために生産者と協議して進めていきたいと思えます。

**Q** 農業担い手支援プログラムの進捗状況について説明願いたい。  
(厚別地区)

**A** 担い手を増やす事はJA北海道大会での決議事項にも入っております。各JAでは具体的な目標設定が求められており、当組合は親元就農の実情を確認して目標達成手段や実践方法を中央会へ提出しております。また、北海道信連の取り扱いであります。また、担い手経営対策資金の需要があれば検討していく予定です。

《相談部門》

**Q** 市街化調整区域内の開発行為について、農協は相談に応じてくださいか。  
(手稲地区)

**A** 申請事務などのお手伝いはできますが、開発行為が認められるかどうかの判断については札幌市の判断になります。

**Q** 札幌協同振興株が行なう賃貸施設管理は二十四時間三百六

十五日対応していただけるのですか。  
(豊平地区)

**A** 札幌協同振興株に再委託する事で土日の管理業務対応が可能となっております。なお、夜間対応は外部専門業者に委託しております。

《金融・共済部門》

**Q** 貯金量が大きく増加しており、運用する為には優良な融資先の確保が必要と思いますが、具体的な対策はあるのですか。  
(豊平地区)

**A** お預かりした貯金は、組合員向けの事業資金や保証付の貸付により運用しておりますが、それ以外の大部分については、余裕金として北海道信連へ預け入れることにより安定的な運用益を確保しております。

**Q** 貸借対照表の貸出金の説明に「組合員および公共団体などへの融資」とありますが、公共団体への融資は安全なのですか。  
(北札幌地区)

**A** 札幌市への融資であり、自治体として格付けも高い事からリスクも低いと考えております。

**Q** 組合員の資産運用に対応する資金貸付として、担保設定を

せず信用枠を設けて素早く借りることが可能な、例えば修繕・改修のためのカードローンのような貸出商品があっても良いと思いますが、今後、そのような商品開発を考えていますか。  
(平岸地区)

**A** 新規融資は、役員決裁の案件を含め融資実行まで円滑な取り扱いに努めておりますが、今後の新商品開発にあたり貴重なご意見として受け賜ります。

**Q** 北海道信連からの奨励金・配当金および全共連からの奨励金等は今後も見込めるのですか。  
(厚別地区)

**A** 北海道信連からの受取奨励金については、マイナス金利政策により奨励水準が低下する可能性もありますが、貯金量を増加させることにより北海道信連への預け金を増やし、運用益を確保したいと考えております。また、共済事業収益の中で奨励金の占める割合は大きく、前年度の事業量と全共連の運用益等の要因で毎年度決定されます。今後も奨励金は見込めますが、金額の多寡は事業年度によって変わってまいります。

※プライバシーに関する質問や、過去同様のご質問につきましては割愛させていただきますのでご了承ください。



# しき作りの喜び

青木キエ子

時間を見つけて  
作品作り  
一つひとつに  
心を込めて

## ◆農家に嫁いで

昨年十一月に行なわれたJAさっぽろ女性部の一大イベント、女性の集い。手作り展示コーナーの一つにパウダーアートの作品が飾られていた。この作品を作ったのは、南区の青木キエ子さん、九十一歳。昔から手芸が好きで、人形や小物など興味のあるものを見つけては、作ってみているという。

「思えば小さい頃から細かい作業が好きで、真剣になって折り紙で遊んでいましたね」

青木家に嫁いできたのは戦後間もない昭和二十一年、二十歳の頃。

「お父さんとは、夫婦になるまで言葉を交わしたこともなくてね。顔はちらっと見たことがあったかしら。泣きながら嫁いで来たものだけど、そういう時代だったのよ」

嫁いでは、リンゴや米の農作業を手伝うようになった。それまで電話交換手や定山溪鉄道の車掌として勤めに出ていた青木さんにとって農業は慣れない作業の連続だった。



# 組合員紹介

「最盛期の忙しさは、人を雇っても追いつかないほどだったから、自分なりに精一杯やりました。昼夜問わず働いて、ハシゴの上で眠ってしまったこともあったんですよ(笑)」

周囲に誘われる形で女性部にも加入。後に藤野支部の支部長を十年間、本部の監事も二年間務め上げた。年間を通して続く活動の中でも、現在も南支部の伝統として脈々と受け継がれている梅漬け作りは気が抜けないかったという。どこかの工程で失敗すれば、梅にカビが発生して無駄になってしまう。決まった作り方を忠実に守りながら、毎年、楽しみにしてくれている人へ梅漬けを届けた。

「私は決められた事はいいかげんにできない性格なので厳しい支部長だったかもしれないね。部員さんに恵まれていたから、皆さん文句も言わずについて来てくれました」

農作業に加えて女性部の活動、一時は藤野支店のダンスサークルにも参加し会長を務めていた青木さん。目まぐるしい日々の中でも暇を見つけて続けてきたのが手芸だった。

## ◆作ることが楽しい

南支店の応接室には、青木さんから寄贈された木目込み人形が飾られている。木目込みとは、針や糸を使わず、本体に筋彫りを入れ目打ちなどで布を押し込んで作品を仕上げる

手法。人形は、手芸作品として残すようになったのはじめの頃にお祝い事の贈り物としてよく作っていた。

「一番下の娘に女の子が生まれたとき、元気に育つように」と雛人形を作ったこともありましたね」

同じように木目込みで絵画のように仕上げるパッチワーク作品は自宅にもたくさん飾られていた。絵柄はどれも細かく、完成まで何ヶ月もかかった大作もある。

「一日中ずっとは出来ないけれど、毎日少しずつ出来ていくと嬉しいですよ」

最近では、週に二度通っているデイケア施設で手芸の時間があり、大きい作品よりも小物を作ることが多くなった。作品が変わっても、細かい作業はお手のもの。デイケアでも青木さんの手先の器用さは有名で、作った小物を見ては欲しがる人も少なくない。

「面白そうな手芸キットを見つけては作ってみているの。デイケアではお友達もたくさん出来たし楽しく通っていますよ」

青木さんが作るものは家族にも大人気。嬉しそうに見せてくれたのは、ひ孫にあげてとても喜ばれたという可愛らしい犬のストラップ。皆にあげられるように、使う布の色や表情が少しずつ異なるストラップがいくつも出来上がっていた。ひ孫の喜び顔を思えば、青木さんも腕が鳴る。

「ひ孫もたくさんいるから、一人にあげてしまうとみんなにあげなきゃならなくて大変(笑)。まだ増える予定なのよ。でも家族に恵まれて本当に幸せです」

三人の子ども達がそれぞれ家庭を持ち、現在は十一人の孫、十九人のひ孫がいる。三年前の米寿のお祝いに一家勢ぞろいで賑やかな時間を過ごしたことを話しながらにっこりと笑った。

たかさんの家族や友人に囲まれて、青木さんは今日も自分のペースで手芸を楽しむ。手作りの喜びを感じながら。



▲南支店に寄贈された木目込み人形。



▲女性の集いで展示されたパウダーアート。型抜きされた絵柄に色粉をつけていく。

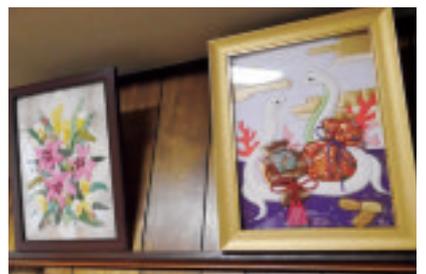
お忙しいところ、取材にご協力くださいました青木さん、ありがとうございました。  
(二〇一六・十一月 取材)



▲少しずつデザインを変えた犬のストラップ。ひ孫たちはどれが好きかな？



▲木目込みパッチワークも小さいものから大きいものまでたくさん作ってきた。その中でも自信作が玄関や居間に飾られている。



# 第19回 組合員親睦 温泉湯治



一月十七日（火）から四日間にわたり、登別温泉ホテルまほろばにて第十九回組合員親睦温泉湯治が行なわれました。組合員百四十六名と役職員三十一名が参加し、温泉に食事、数々のイベントを楽しみました。

## 1日目

今年も温泉湯治スタート！  
初日の宴を楽しみました。



▲開会セレモニーでは、豪快に鏡開き！

▲温泉湯治団長は手稲地区の岡内義一さん、副団長は西町地区の木村一重さんに務めていただきました。



▲風雪太鼓の皆さんが会場を盛り上げました。



▲藤田組合長を含めた5名が和太鼓体験。三・三・七拍子に挑戦しました。

たぐさんのご参加  
ありがとうございます！



## 2日目

一木ひろし  
モノマネショー  
で大笑い！  
豪華景品を掛けて  
大ビンゴ大会！！



▲五木ひろしのヒット曲をメドレーで披露した一木ひろしさん。



▲歌が始まると口ずさみ、お決まりの顔まねでは大爆笑！



ビンゴ～！



▲参加者全員に景品が当たるビンゴ大会。番号が読み上げられる度に一喜一憂。



26組が出演し歌や踊りを披露  
声援飛び交い、拍手喝采！  
**大演芸大会**

**3**日目



はかまだ雪絵歌謡ショー、新春お楽しみ抽選会  
最高潮の盛り上がりで旅を締めくくる

# 最終夜の大宴会



▲宴会の最後はお楽しみ抽選会。当選された皆さん、おめでとうございます！

▲室蘭出身の歌手、はかまだ雪絵さん(右)。



12月20日(火)  
協同組合講座(上級編)

## 受講生の考えを“かたち”に

平成27年に開講した「協同組合講座」の修了生を対象とし、さらに一步踏み込んだ講義を展開する「協同組合講座(上級編)」を開講しました。

第1回講座では、JA北海道中央会札幌支所の松原健治次長、キャリアフォローアカデミー(株)代表取締役 藤塚優子氏を講師に迎え、昨年、大きく動き出した「農業・農協改革」についてや「地域ブランドとは何か、PRとはどういうことをすることなのか」について講義いただきました。

「協同組合講座(上級編)」では、2月までの間で講義・視察・討議により、地域の活性化や組合員所得の向上へつながる「地元農畜産物”PRの取り組み」を考えることを通して、第28回JA北海道大会で決議された「自ら学び、気づき、成長することが出来る人づくり」を実践します。

▼「アピールは自分の主張、PRは相手に理解してもらおうこと」と学んだ藤塚講師の講義。



▼JA北海道中央会札幌支所 松原次長。「クミカン制度は維持されました」



12月8日(木)  
作目別専門部会役員合同研修会

## 作目別部会役員が一堂に会し研修会

3年に1度の部会役員改選年度に行なわれる作目別専門部会役員合同研修会が札幌全日空ホテルで行なわれ、各部会役員や職員、関係機関の担当者など38名が参加しました。

研修会では、石狩農業改良普及センターから「平成28年度の作柄を振り返って」と題し、石狩管内の主要農作物の生育経過と状況などについて解説があった他、札幌市経済観光局農政部農業支援センターからは各種品目の試験調査課題について説明を受けました。各部会役員が一堂に会する機会はなかなかなく、貴重な研修会になりました。また、研修会後は懇親会を開催し、部会の垣根を越えて親睦を図りました。

(川越特派員)



12月2日(金)  
JAさっぽろ青年部

## 白石支部が団体優勝！ 支部対抗ボウリング大会

JAさっぽろ青年部(近藤克宜部長)では、部員・事務局57名が参加し、ディノスボウルノルベサにて、支部対抗親睦ボウリング大会を開催しました。午後7時にゲームがスタートすると、会場内にはじけ飛ぶピンの音と歓声が飛び交い、各レーンで熱戦が繰り広げられました。2ゲームトータルの合計により競った結果、団体戦では、白石支部が平均アベレージ138.63で優勝。個人戦においては、北札幌支部の坂東拓也さんが2ゲームトータル350で優勝しました。終了後は、キリンビール園アーバン店に会場を移し、表彰式および忘年会を開催。部員同士の親睦を深めました。

▼個人戦優勝 北札幌支部 坂東拓也さん



▲団体戦優勝 白石チーム





1月12日(木)  
女性部厚別支部  
茶道・生花サークル

## 新年の幕開けに濃茶を楽しむ

女性部厚別支部茶道・生花サークル(栗井幸子代表)では、会員10名が参加し毎年恒例の初釜・初生けを行ないました。会場に花や掛け軸を設えて、今年も女性部厚別支部長、副支部長や支店職員をご招待。厳かな雰囲気の中、濃茶と茶菓子を振舞いました。茶問答を交えながらの本格的な茶会に最初は緊張していた参加者の表情も次第にほぐれ、濃茶の味を楽しんでいました。

(吉村特派員)

▼来賓としてお招きした女性部厚別支部 小林支部長を濃茶でおもてなし。



1月13日(金)  
女性部厚別支部 竹葉会

## オリジナルのアクセサリーに大満足!

女性部厚別支部竹葉会(小林祐美代表)では、部員7名が参加し工芸講習会と新年会を行ないました。今年の工芸講習会は、グルーアーティストジャパン協会認定インストラクターの中島由利加先生を講師にお招きし、グルーアートデコアクセサリー作りを行ないました。グルーアートデコとはカラフルに着色された接着剤・グルースティックとグルーガン、ラインストーンなどを使って創作することで、今回はネックレスとブローチを作りました。集中力が必要な細かな作業に悪戦苦闘しながらも、先生のアドバイスを受けながら思い思いのデザインで完成させることができました。その後の新年会ではおいしい食事を囲み楽しいひと時を過ごしました。

(吉村特派員)

▶それぞれの個性があふれる作品に仕上がりました。



11月25日(金)  
～11月28日(月)  
青年部厚別支部

## 観光orゴルフ 好きなほうを選んで沖縄満喫

青年部厚別支部(山下秀美支部長)では、部員12名が参加し3泊4日の沖縄旅行を実施しました。今回の旅行では観光組とゴルフ組に別れ、それぞれの行程を楽しみました。観光組は世界遺産の今帰仁城跡や首里城、美ら海水族館等を訪れ、ゴルフ組は東シナ海を望む壮大なパノラマと変化に富んだフェアウェー、青空へと続く緑のアンジュレーション(起伏)を体感できるジ・アッタテラスゴルフリゾート等の3コースをラウンドしました。また途中立ち寄った、ご当地の産直市場や地元JAのファーマーズでは現地の野菜や果物をたくさん買い込みました。毎晩夕食は参加者全員で沖縄ならではの郷土料理とお酒を堪能し、終始笑顔で参加部員の親睦を深めることができました。

(西野特派員)





10月25日(火)～10月28日(金)  
資産管理部会豊平支部

## 待望の北海道新幹線で東北旅行

資産管理部会豊平支部(山田和彦支部長)では、部員15名が参加し南東北への視察研修旅行を実施しました。札幌から新函館北斗へ向かう特急の車内では、車窓からの風景に台風の爪あとを感じながらの移動となりました。その後楽しみにしていた北海道新幹線に乗り換え、仙台へ。

あいにくの雨で先の日程が心配されましたが、翌日からは快晴に恵まれ、中尊寺を参拝し山寺(立石寺)を登った他、JAさがえ西村山アグリランド、上杉神社、青葉城址などを訪れました。部員同士の懇親が更に深まり、存分に楽しんだ4日間となりました。

(山本特派員)



12月6日(火)  
～12月7日(水)  
そ菜部会清田支部

## 恒例の流通懇談会、 一年の労をねぎらう

そ菜部会清田支部(三上芳弘支部長)では、部会員10名が参加し登別グランドホテルにて毎年恒例の流通懇談会を行ないました。丸果札幌青果株式会社・札幌ホクレン青果株式会社を招き、平成28年産ポースターほうれんそうの販売状況等について説明があり部会員は熱心に耳を傾けていました。その後の懇親会では、参加部会員相互で一年の労をねぎらい、有意義な時間を過ごして無事に流通懇談会を終了しました。

(山本特派員)



12月14日(水)  
～12月15日(木)  
新琴似支店年金友の会

## 日常から離れ、定山溪温泉へ

新琴似支店年金友の会(安藤政義会長)では、会員13名が参加し定山溪温泉への親睦温泉旅行を実施しました。当日は、前日に降った大雪で行程に影響が出ることが懸念されたものの、無事現地に到着しました。夜は宴の席が設けられ、ビンゴ大会、カラオケなどを楽しみ大満足。会員の澤田さんのマジックショーではプロ顔負けのマジックにこの日一番の盛り上がりを見せていました。食事の後は旅の目的でもある温泉に浸かり、日頃の疲れを癒しました。「時間がゆっくりと感じるね」と話しながら、心も身体も温まる有意義な2日間となりました。

(竹内特派員)



▼マジックショーを披露した澤田さん。

▼驚きのマジックに歓声があがりました。



# 虹のひろば

JAさっぽろの様々な部会活動の様子をご紹介します

JAさっぽろ女性大学

第3期 第6回講座・閉講式

「フラワーアレンジメント」

Lカレッジ

小林 辰也 先生

～Lady (女性) が Link (つながり) を持って Life (生活) について Liberty (自由) に Learn (学ぶ) ところ～

12月13日(火)、Lカレッジ第6回講座では、講師に株式会社フラワーライフ代表取締役 小林辰也さんをお招きし、フラワーアレンジメント教室を行ないました。今回は、バラやトルコギキョウ、綿などの切花を使ってこの季節にぴったりのアレンジメントを作成。「花に愛情を持って作ると、作品にも愛情がわく」という小林先生のアドバイスを受け、心を込めて素敵な作品に仕上げました。

また、3分間のミニ講座「得るカレッジ」では、「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり」と題し、食べるサポーターをはじめとした農業やJAを応援するサポーターの大切さを学びました。

第3期Lカレッジは今回が最終講座となり、講座終了後には閉講式が行なわれました。「最後なのは寂しいけど、どの講座も楽しかった！」と受講生たちは満足そうに話していました。

4月には、第4期の開講を予定しています。



▲「卒業」記念にハイチーズ!全6回の講座を通して仲間がたくさんできました。



小林 辰也 先生

株式会社フラワーライフ代表取締役  
フラワー装飾技能検定士  
カットフラワーアドバイザー  
辰庵塾 塾長

「同じ花でも一本一本全て違う表情を持っています。人の作品をまねても同じ作品にはならないので、花に語りかけながら自分なりのアレンジメントを作りましょう!」



▲閉講式では、一人ひとりに吉田副組合長から修了証が手渡されました。



# 相続税制改正後の相続税申告状況

平成 25 年度相続税制の改正により、平成 27 年 1 月以降の相続税の基礎控除が従来の 6 割にまで引き下げられ、その影響が出る初めての相続税申告状況の概要が国税庁より発表されました。なお、札幌国税局より発表された北海道の申告状況の主な概要は次のとおりです。

## 1 被相続人数等

平成 27 年中に亡くなられた方（被相続人数）は 60,667 人（平成 26 年 60,018 人）、このうち相続税の課税対象となった被相続人数は 2,452 人（平成 26 年 1,207 人）で、課税割合は 4.0%（平成 26 年 2.0%）となっており、平成 26 年より 2.0 ポイント増加しました。

## 2 課税価格

課税価格の合計は 3,109 億 9 千万円（平成 26 年 2,275 億円）で、被相続人 1 人あたりでは 1 億 2,683 万円（平成 26 年 1 億 8,848 万円）となっています。

## 3 税額

税額の合計は 339 億 2 千万円（平成 26 年 250 億 1 千万円）で、被相続人 1 人あたりでは 1,383 万円（平成 26 年 2,072 万円）となっています。

## 4 相続財産の金額の構成比

相続財産の金額の構成比は、現金・預貯金等 44.4%（平成 26 年 38.6%）、土地 20.7%（平成 26 年 23.7%）、有価証券 13.5%（平成 26 年 14.6%）の順となっています。

## 相続税の申告実績

項目	年分	全 国		北海道	
		平成 26 年分	平成 27 年分	平成 26 年分	平成 27 年分
①	被相続人数	約 127 万人	約 129 万人	60,018 人	60,667 人
②	課税対象となった被相続人の数	56,239 人	103,043 人↗	1,207 人	2,452 人↗
③	課税割合	4.4%	8.0%↗	2.0%	4.0%↗
④	②の内、課税価格が 1 億円以下の対象者	約 14,000 人	約 6 万人↗		
⑤	相続税の納税者数	133,310 人	233,555 人↗	2,916 人	5,692 人↗
⑥	課税価格	114,766 億円	145,554 億円↗	2,275 億円	3,109.9 億円↗
⑦	相続税額	13,908 億円	18,116 億円↗	250.1 億円	339.2 億円↗
⑧	1 人当たりの課税価格 (⑥ / ②)	20,407 万円	14,126 万円↘	18,848 万円	12,683 万円↘
⑨	1 人当たりの税額 (⑦ / ②)	2,473 万円	1,758 万円↘	2,072 万円	1,383 万円↘

(国税局 HP より抜粋)

## 全国の申告状況

相続税制改正前に財務省が行なった試算では、改正による課税割合の全国平均は、従来の 4%前後から 1.5 倍の 6% 程度上昇するとの予測でしたが、実際の数値では試算を大きく上回る結果の 8%となっています。

項目別にみると、平成 27 年分は前年度と比較して課税価格の合計で 26.8%増、税額の合計で 30.3%増となっており、課税割合、課税対象となった被相続人の数と合せ過去 10 年で最高を記録しています。一方、相続等における基礎控除額の引き下げにより課税価格 1 億円以下の課税対象となる被相続人の数が平成 26 年分と比較して 4 倍以上に増加した影響から、被相続人 1 人当たりの課税価格は 30.8%減、税額も 28.9%減といずれの項目も減少しています。

なお、平成 27 年分の相続税の申告状況については、国税庁ホームページで都道府県別に確認する事ができます (<http://www.nta.go.jp/kohyo/index.htm>)。

JA さっぽろでは、税務に関係する情報を皆さまにお届けしております。また、組合員の皆さまのお役に立てるよう、関係各署や顧問税理士等と連携して様々な提案・サポートを行っておりますので、お気軽に最寄りの各支店および不動産プラザ店にご相談ください。

# ATMなどのサービスを 一時休止させていただきます。



J Aバンクの全国統一電算システムの更改にとともに、下記日程でATM・J Aネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。組合員の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

休止期間中はコンビニ等のATMも含めて現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願いいたします。

平成**29**年  
(2017)

3月18日(土)

5月4日(木・祝) / 20日(土)

9月16日(土)・17日(日)

平成**30**年  
(2018)

1月6日(土)・7日(日)・8日(月・祝)

## 休止させていただくサービス

### JAバンクのATM

JAバンクのATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス

### JAネットバンクサービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、残高照会や振込・振替など、全てのサービス

### コンビニ等のATM

JAキャッシュカードによるセブン銀行、ゆうちょ銀行、その他提携金融機関やコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス

※ご不明な点は、各支店までお問い合わせください。



理事会だより

◆第九回定例理事会

平成二十八年十二月二十七日(火)午後三時より本店役員会議室において第九回定例理事会が開催された。

●委員会等報告事項  
一、経済・相談委員会

●協議事項

一、平成二十八年度仮決算監事監査回答書について

平成二十八年十月三十一日から十一月九日まで実施された平成二十八年度仮決算定期監査(棚卸監査含む)における「改善を要する事項」に対する回答(案)が説明され、可決決定。

二、平成二十九年理事・監事報酬の役員報酬審議会への諮問について

平成二十九年七月から翌年六月までの理事報酬総額および監事報酬総額は、平成二十八年度の役員個別報酬を踏襲し、役員定数の削減に考慮した諮問額としたい旨が説明され、可決決定。

三、平成二十九年度予約購買奨励金要領の変更について

平成二十九年年度分需要の早期取り纏めメリットの還元による生産コスト低減、および組合の発注管理作業の効率化を図る観点から、奨励対象を「肥料・農薬取り纏め推進要領」に基づくものに限定

するべく変更する事が説明され、可決決定。

●報告事項

一、広域役員選考委員・役員報酬審議委員・役員推薦委員の選考結果について

二、地区別懇談会における主な意見・要望の広報誌掲載について

三、平成二十九年九期半期ディスクロージャー誌について

四、平成二十八年度大口奨励金の交付について

五、十月末財務状況報告

六、十月末組合員加入・脱退状況

七、十二月の動静と一月の予定について

(閉会・午後三時五分)

JAさっぽろDATA

(平成28年12月末業務実績) (平成28年11月末業務実績)

組合員数	正組合員	3,892名	正組合員	3,896名
	准組合員	30,100名	准組合員	29,728名
	合計	33,992名	合計	33,624名
出資金残高	52億7千万円		52億3千9百万円	
販売取扱高	20億7千8百万円		19億7百万円	
購買供給高	8億4千2百万円		7億5千4百万円	
貯金残高	3,009億8百万円		2,954億4千6百万円	
融資残高	897億7千7百万円		898億8千1百万円	
共済保有高	6,064億5千1百万円		6,076億3百万円	
施設建設取扱高	3億8千5百万円		3億4千8百万円	
管理受託戸数	4,126戸		4,126戸	

※出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

**さとらんど**  
パン作り講座  
クリームロールパンと  
タルト風パン作り

日時: 3月2日(木) 11時~13時  
場所: さとらんどセンター  
定員: 16人 費用: 1,300円

※2月21日(火)から受付開始/  
申込みは、さとらんどセンターまでTELまたは直接受付ください。

【お問い合わせ】サッポロさとらんど  
〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2 TEL(011)787-0223

おくやみ

下記の正組合員の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。(12月11日~1月15日)

支店名	氏名	享年	月日
菊水元町	片岸 勲 さん	89才	1/4
	遠山ミツ子さん	74才	1/4
	齊藤 規 さん	82才	1/9
南	松村 薫 さん	88才	1/15
平岸	赤塚 澄子さん	93才	12/15
白石	山内 道春さん	87才	12/14
	田山 忠男さん	96才	12/26
	大浦 政雄さん	79才	12/28
手稲	菅原 トモさん	97才	12/28
	藤村 惣一さん	62才	12/28
西町	村田 住巳さん	86才	12/19
中央	宮崎 忠 さん	79才	12/21
月寒	大瀧 晃子さん	102才	12/29
厚別	高橋 俊雄さん	86才	12/31
北札幌	竹田 博 さん	95才	12/13
篠路	鵜嶋 芳武さん	83才	1/5
	黒田 安弘さん	78才	1/6
	伊藤 タカさん	102才	1/13
	宮西 幸 さん	97才	1/15
新琴似	鴨田 利男さん	86才	12/27
丘珠	古瀬百合子さん	94才	12/23

あなたの自慢 教えてください



▲タッキー（左）とエリン（右）。来たばかりの頃、小さな子猫だったタッキーも今ではエリンと変わらないくらい大きく育っています。（竹田さん撮影）



## 月寒地区 竹田 武さん 「新しい家族 ネコのタッキー」

我が家に新しい家族が増えました。スコティッシュフォールドの「タッキー」です。

先にやってきたブリティッシュショートヘアの「エリン」の弟として迎えました。はじめはお互いを

少しだけ警戒していた二匹も今では仲良く遊んでいます。もつと二匹が仲良くなるように

私も少しお手伝い。転がして遊ぶと中からおやつが出てくる仕組みのおもちゃを作りました。

ご飯が大好きな二匹ですが、たくさん運動もして元気に過ごしてほしいものです。



▲試行錯誤を重ねるうちに、たくさんできた2匹のためのおもちゃ。



タイトルは、きゅうりやトマトなどに一般的に殺菌剤で使われている「ジマンダイセン」をアレンジしたものです。



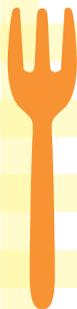
《優しくなりたい》

上手に泳げない金魚が水面に浮いた餌を食べようとすると仲間の金魚が懸命に泳いで下から支えようとします。そんな新聞記事が目に入ってきました。記事では「まるで介護金魚だね」と締めくくっていました。が、この記事を見て私が思い出したのは「カバ」です。みなさんもテレビ番組で見たことありませんか？川を渡れないヌーやシマウマの子供を助けてあげるカバの姿。ワニに襲われているバッファローを助けてやってくるカバの姿を。理由は説明されていないようですが、金魚やカバのような人間以外の生き物にも、「助けて」という気持ちがあるのかも知れませぬね。

ところでみなさん。

『広報誌 虹の大樹十二月号』  
ご覧いただけましたか？特集「協同組合って何だろう？」を掲載しました。協同組合は助け合う「相互扶助」の精神を大切にしています。「みなさんを包むすべてが優しさで溢れるように」。私も金魚やカバに負けないように強くなりたい、優しくなりたい。

(新)



# 新鮮食材で 楽しく クッキング

料理研究家  
波多野充子



## エビとマッシュルーム のアヒージョ

スペインのバルでおなじみのアヒージョ。ニンニクの香りが漂うオリーブオイルで具材を煮る料理です。油の量は、具材が漬かる程度が目安ですので、鍋の大きさにより加減してください。残ったオリーブオイルはバケツなどに付けてどうぞ。

### ●材料 (2人分)

エビ	8尾
マッシュルーム	6個
ニンニク	1片
唐辛子	1本
オリーブオイル	大さじ4程度
塩	適量
イタリアンパセリ	2本

### ●作り方

- ① エビは殻としっぽを取り、背わたはようじなどで取る。
- ② マッシュルームは食べやすい大きさに切る。ニンニクは芯を取りざく切り、唐辛子は種を取り輪切りにする。
- ③ 小さめの鍋にオリーブオイル・ニンニク・唐辛子を入れ、弱火でじっくりと香りを出し、塩を加える。
- ④ ③にエビとマッシュルームを加え、鍋を揺すりながら全体に油を絡ませる。
- ⑤ エビに火が通ったら器に盛り、イタリアンパセリを添えて熱々をいただく。

(1食当たり 約306kcal)

オリジナル  
レシピ大募集!

あなたの手料理のレシピを広報誌にのせませんか?  
お近くの支店または本店広報課までお気軽にお声かけください。